

生命エネルギー工学



講師

わたなべ かずや

渡邊 一哉 氏

東京薬科大学 生命科学部
生命エネルギー工学研究室 教授

参加費無料
事前申込不要

日時: 2017年 1月 18日(水) 16:30~18:00

会場: 中央大学 後楽園キャンパス 6号館4階6418号室

講演概要

人類が今後持続的に発展していくためには、地下資源や化石燃料への依存を減らし、地表に存在する資源を高度に利用する循環型社会・産業を普及させていかなければならない。地表に存在する資源としてはバイオマス、空気、水が挙げられ、21世紀以降、これらを利用する技術としてのバイオテクノロジーの重要性が増していくと予想される。このようなバイオテクノロジーの一つとして演者が提唱するのが“生命エネルギー工学”である。生命エネルギー工学とは、生物のエネルギー代謝を理解し、その新たな応用の道を探索する学問である。一例としては、21世紀になり発見された発電菌(細胞外の固体を電子受容体として呼吸する微生物)と、それを応用した微生物燃料電池が挙げられる。微生物燃料電池は、創エネ型の廃水処理装置として近い将来の実用化が期待される技術である。本講演では、生物がエネルギーを利用する仕組みの基礎を解説するとともに、生命エネルギー工学の最先端を紹介する。



参加費: 無料
定員: 100名
主催: 中央大学 理工学研究所
問合せ先: 112-8551
東京都文京区春日1-13-27
中央大学 研究支援室
(後楽園キャンパス3号館10階)
TEL: 03-3817-1602 FAX: 03-3817-1677

※ご来場の際は、公共の交通機関をご利用下さい。